

- ④ 詳細設計調査時における各サイトでの施設位置確認への VWC の協力、運営・維持管理費の積立開始及び銀行口座開設について、住民及び VWC の再認識を促す。
- ⑤ 特に既存給水施設（ハンドポンプ、ジェネレーター式給水施設）を有するサイトにおいては、従来の給水施設とソーラー式給水施設の運営・維持管理における VWC との責任・役割の相違、再組織化の必要性、その理由等を先方の理解を深めつつ説明を行い、ソーラー式給水施設の導入に際し混同や誤解の無いように活動を進める。

2) 対象者

対象 18 サイトの住民

3) 活動実施担当者及び従事期間

| 実施担当者 | 従事期間 | 担当業務 |
|-----------------------|---------|----------------------|
| 現地 NGO/コーディネーター (1 名) | 計 5 日間* | TAC-MDFT に対する OJT 実施 |
| TAC-MDFT メンバー | 計 18 日間 | 村落レベルでの活動実施主導 |

*: 5Area Council で各 1 サイト（計 5 サイト）を OJT 対象とし、1 サイト 1 日間（計 5 日間）の活動に参加する。その他 13 サイトにおいては TAC-MDFT が OJT にて指導された内容を独自に実施し、現地 NGO は TAC-MDFT 作成の活動モニタリング・シートによりその活動状況を確認する。

4) 活動プログラム案

| 日程 | 主な内容 | 所要時間（目安） |
|------|--|----------|
| 1 日目 | 1. 当該ワークショップの目的説明 | 0.5 時間 |
| | 2. 本プロジェクトにおける VWC の責任・役割の説明・合意 特に、既存給水施設（ハンドポンプ、ジェネレーター式給水施設）を有するサイトにおいては、既存給水施設とソーラー式給水施設の運営・維持管理における VWC との責任・役割の相違を説明 | 1.5 時間 |
| | 3. VWC 運営に関する規約（メンバー構成、任期、選出方法、意思決定方法、VDC ならびに住民全体集会への報告等）について住民の合意形成 | 2.0 時間 |
| | 4. VWC メンバーの選出 | 2.0 時間 |
| | 5. 本プロジェクトでの運営・維持管理における村落側の責任事項を文書化した運営・維持管理合意書に VWC が署名。村長による承認。 | 0.5 時間 |

5) 手法

本プロジェクトにおける VWC の責任・役割を明確にした上で、VWC の新規設立を支援する。あるいは、既存給水施設の運営・維持管理のための組織がある場合には、同組織の活用・再組織化の可能性について検討する。特に既存の VWC がある場合、TAC-MDFT メンバーは組織運営上の問題点（組織活動の形骸化、特定個人への負担の集中、ジェンダー・バランスへの配慮の欠如等）が存在しないか、住民自身による分析を通して確認し、新規組織設立または再組織化に際しては、これらの課題解決を念頭に置いた規約策定について助言する。その後、メンバーの選出のプロセスに移り、住民投票により VWC 構成員を決定する。選出方法に関しては、女性の意見の積極的な反映を促すため、必要な場合には男女別のグループに分かれての討議を行う等、TAC-MDFT メンバーが配慮する。VWC 選出後、本プロジェクトでの運営・維持管理における村落側の責任事項を文書化した運営・維持管理合意書に VWC が署名し、村長がこれを承認する。

6) 活動の成果品

TAC-MDFT による活動モニタリング・シート、VWC の内部規約、VWC 及び村落による運営・維持管理合意書

活動 5 対象村落の既存給水・衛生環境に関する参加型問題分析（活動所要期間：3日／サイト × 18 サイト 計 54 日間）

1) 目的

- ① 対象サイトの住民が抱える給水・衛生環境に関する問題と、生活環境全般の向上ニーズにおける同問題の位置付けについて、住民自身の既存知識とモチベーターのファシリテーションによる「気づき」の促進をもとに分析・評価を行い、現状と改善点について共通認識を形成する。
- ② 住民の衛生概念・習慣、水因性疾患予防を中心とする健康状態改善と水・衛生環境改善の関係に対する住民の理解・行動について分析し、参加型衛生教育実施時のターゲットとすべきグループ、衛生習慣・行動、メッセージを抽出する。
- ③ 給水施設建設ならびに、運営・維持管理体制の整備と衛生教育の促進により期待される生活環境改善面での効果について住民と検討し、プロジェクト終了時の評価に使用するための指標を作成する。また、当該指標についてのベースラインデータを収集する。

2) 対象者

対象 18 サイトの住民

3) 活動実施担当者及び従事期間

| 実施担当者 | 従事期間 | 担当業務 |
|---------------------|---------|----------------------|
| 現地 NGO/コーディネーター(1名) | 計 15 日* | TAC-MDFTメンバーに対する OJT |
| TAC-MDFTメンバー | 計 54 日間 | 村落レベルでの活動実施主導 |

*: 5Area Council で各 1 サイト（計 5 サイト）を OJT 対象とし、1 サイト 3 日間（計 15 日間）の活動に参加する。その他 13 サイトにおいては TAC-MDFT が OJT にて指導された内容を独自に実施し、現地 NGO は TAC-MDFT 作成の活動モニタリング・シートによりその活動状況を確認する。

4) 活動プログラム案

| 日程 | 主な内容 | 所要時間（目安） |
|------|---|----------|
| 1 日目 | 1. 当該ワークショップの目的説明・ルールの設定 | 0.5 時間 |
| | 2. コミュニティ内の集落構成、既存給水・衛生環境の確認 | 2.5 時間 |
| | 3. 既存給水施設の利用状況、水量・水質に対するニーズ・問題分析 | 2 時間 |
| | 4. 水因性疾患を中心とする住民の疾病罹患状況の分析、水因性疾患の原因・感染経路と予防方法 | 1.5 時間 |
| 2 日目 | 1. 既存衛生環境・衛生習慣に関する問題分析、水因性疾患の原因・促進要因となる衛生習慣・行動、当該習慣・行動を持つグループの特定 | 2.5 時間 |
| | 2. 既存給水・衛生環境に関わり発見された問題の中で、住民の取り組みにより改善が可能な点の検討、一般的な生活環境改善と当該問題改善との関係 | 2 時間 |
| | 3. 既存給水・衛生環境の改善に当り利用可能な、村落内の資源の分析（現金収入源、運営・維持管理費積立が可能な時期、一定の技能を有する人材と同人材が有する技能の種類、村落内で入手可能な資材等） | 1.5 時間 |
| 3 日目 | 1. 外部からの運営・維持管理（給水施設建設及び運営・維持管理体制の整備支援）と住民自身の取り組みにより実現を期待する状態の確認 | 2 時間 |
| | 2. プロジェクト実施の効果測定のための指標設定 | 1 時間 |
| | 3. 上記プログラムを通じた分析・検討結果に基づくベースライン・データの整理 | 2 時間 |
| | 4. 総括・ワークショップ評価 | 1 時間 |

5) 手法

本プロジェクト準備調査時に作成したコミュニティ・マッピング手法¹の成果品を用い、コミュニティ内の集落構成及び既存給水・衛生施設の所在等をレビューした後、同コミュニティ・マップならびにポケット・チャート²を用いて、各給水・衛生施設の利用状況、水量・水質に対するニーズ等の分析を行う。

また、水因性疾患の原因・感染経路と感染予防の確認に際しては、人間の手指、排泄物、ハエ、水、食品等の感染経路と、感染を予防するための適切な衛生習慣の関係について示した絵図も使用し、視覚的に理解を得られるよう工夫する。更に、問題点の改善・解決方法の検討に際しては、給水・衛生環境に関する「現状」と「将来において実現されるべき望ましい状態」を示す絵図を用い、そのギャップを克服するためにコミュニティ、世帯、個人が取るべき手段、過去の取り組み、利用可能な資源等の側面から協議を促進する。

一連の分析・協議においては、成人男性、成人女性、子どもの各グループによる現状及び問題認識、ニーズの相違に留意するため、フォーカスグループ・ディスカッション等の手法を用いたグループ毎の分析作業と、全体へのフィードバックのプロセスを採用する。

本プロジェクト準備調査時には、全体計画対象サイトでの質問票を用いたサンプル世帯調査と併せ、PRA 手法を用いた質的情報収集・分析を実施した。ただし、この調査は対象サイトの住民を取り巻く「現状」について、代表的な質的データを得ることに主眼を置いたものであり、本ソフトコンポーネント計画書が対象とするプロジェクト実施段階では、各対象サイトの個別の社会・経済条件に基づき能力開発・衛生教育活動を推進するための PRA 手法の導入の必要がある。なお、準備調査時にサンプル世帯調査により収集した量的データは、ワークショップ時の協議テーマの抽出、評価指標の設定に際して参照する。

6) 活動の成果品

TAC-MDFT による活動モニタリング・シート

活動 6 住民－民間 OM 会社－行政機関間の相互理解及び信頼醸成(活動所要期間：1 日/サイト×18 サイト 計 18 日)

1) 目的

運営・維持管理体制における 3 者が同制度におけるお互いの役割を認識した上で、自身に求められている役割を再確認するとともに、関係者間の信頼構築の基礎を作る。

2) 対象者

TAC-MDFT メンバー、民間 OM 会社の運営・維持管理担当者、VWC メンバー

¹：コミュニティ内の既存資源（家屋、道路、教育施設、宗教施設、医療施設、給水施設、川・池、田畑等）の種類や人口、特定社会的条件に属するグループ（女性／子ども筆頭世帯、教育レベル、経済条件等）の数、共有資源に対するアクセス状況等を分析するために用いる手法で、住民自身がこれらの情報を地図化し、分析を行う。

²：給水施設や衛生施設の種類、衛生習慣の内容等をイラストにしたカードを用い、日常使用する給水施設の種類や用途、実行している衛生習慣の内容等、様々なテーマについて、住民が分析を行う。イラストを用いることで文字の読めない住民にも視覚的に理解されやすく、議論を助ける手段となる。

3) 活動実施担当者及び従事期間

| 実施担当者 | 従事期間 | 担当業務 |
|---------------------|---------|-----------------------|
| 現地 NGO/コーディネーター(1名) | 計 5 日間* | TAC-MDFT メンバーに対する OJT |
| TAC-MDFT メンバー | 計 18 日間 | 村落レベルでの活動実施主導 |

*: 5Area Council で各 1 サイト (計 5 サイト) を OJT 対象とし、1 サイト 1 日間 (計 5 日間) の活動に参加する。その他 13 サイトにおいては TAC-MDFT が OJT にて指導された内容を独自に実施し、現地 NGO は TAC-MDFT 作成の活動モニタリング・シートによりその活動状況を確認する。

4) 活動プログラム案

| 日程 | 主な内容 | 所要時間 (目安) |
|------|--|-----------|
| 1 日目 | 1. 当該ワークショップの目的説明・ルールの設定 | 0.5 時間 |
| | 2. 関係を築く上での「信頼の重要性」の理解 | 0.5 時間 |
| | 3. 利害対立を「協力により解決すること」の理解 | 1 時間 |
| | 4. 運営・維持管理活動に関わる住民、民間 OM 会社、行政機関及びその関係のレビュー | 1 時間 |
| | 5. 運営・維持管理活動において直面すると想定される問題とそれに対する解決方法につき、お互いの立場を理解しつつ、関係者で共に学ぶ | 1 時間 |
| | 6. 総括・研修評価 | 1 時間 |

5) 手法

PRA 手法を用い、まず運営・維持管理体制にコミュニティ・レベルで関わる各々の参加者が集まった場で、まず関係者間の面識を深めつつ「信頼」及び「協力」の重要性を概念的に理解する(Trust Walk¹及び Chairs²)。その後、具体的に運営・維持管理活動に携わる 3 者(住民-民間 OM 会社-行政機関)の役割を再確認(Venn Diagram³)したうえで、各々の立場で、また他の関係者が直面するであろうと思われる問題を共有・理解し、その解決に向けてともに考える(Margolis Wheel⁴)。このプロセスを通じ、一方的に自身の立場を主張し続けるのではなく、運営・維持管理体制の中でお互いの立場を尊重しつつ、今後の建設的な信頼関係を築くための土台を形成する。

6) 活動の成果品

TAC-MDFT による活動モニタリング・シート

B.各サイトでの工事实施期間中に行う活動

活動 7 VWC の能力開発

ここでは VWC の能力開発を実施する。本プロジェクト対象サイト 18 ヶ所はいずれもソーラー式給水施設の運営・維持管理の経験を有していないため、各サイトの抱える様々なニーズを適切に分析した上で、必要と判断される能力開発活動を実施していくこととする。

活動 7-1 VWC メンバーの能力開発に関するニーズ分析 (活動所要期間: 2 日/サイト × 18 サイト 計 36 日間)

¹: 人間関係の構築における信頼の重要性を理解するための PRA 手法の一つ

²: 紛争を協調に転換する手法を示しつつ、紛争処理には社会的文化的差異があることに気づかせる PRA 手法の一つ

³: 制度的な繋がりや関係を視覚的に理解し、参加者の属する組織における重要なつながりや制約を明らかにする PRA 手法の一つ

⁴: 直面する(であろう)現実の問題を話し合い、潜在的な解決方法を生み出す機会を個人個人に与える PRA 手法の一つ。グループ内の権威・力の平等を協調し、関係者間で問題を共有し、お互いの経験や示唆を探ることを助長する。

1) 目的

村落レベルでの運営・維持管理体制整備に当り、能力開発の中心的ターゲットとなる VWC メンバーの知識・技能修得ニーズ、現在メンバーが有する知識・技能とのギャップを評価し、以後のトレーニング実施の詳細計画を VWC と協議・合意する。

2) 対象者

活動 5 で選出された VWC メンバー (計 180 名 約 10 名/VWC × 18 サイト)

3) 活動実施担当者及び従事期間

| 実施担当者 | 従事期間 | 担当業務 |
|---------------------|----------|-------------------|
| 現地 NGO/コーディネーター(1名) | 計 10 日間* | TAC-MDFT に対する OJT |
| TAC-MDFT メンバー | 計 36 日間 | 村落レベルでの活動実施主導 |

*: 5Area Council で各 1 サイト (計 5 サイト) を OJT 対象とし、1 サイト 2 日間 (計 10 日間) の活動に参加する。その他 13 サイトにおいては TAC-MDFT が OJT にて指導された内容を独自に実施し、現地 NGO は TAC-MDFT 作成の活動モニタリング・シートによりその活動状況を確認する。

4) 活動プログラム案

| 日程 | 主な内容 | 所要時間 (目安) |
|------|---|-----------|
| 1 日目 | 1. 当該ワークショップの目的説明・ルールの設定 | 0.5 時間 |
| | 2. コミュニティ組織での VWC メンバーの活動経験、VWC メンバーとして選出された後の活動内容のレビュー | 2 時間 |
| | 3. VWC としての責任・役割遂行における、メンバー自身の「期待」と「恐れ」の分析 | 1 時間 |
| | 4. VWC 及び各メンバーの責任・役割の再確認 | 2 時間 |
| 2 日目 | 1. VWC メンバーが責任・役割を遂行する際の促進要因及び阻害要因の分析 | 2 時間 |
| | 2. VWC メンバーの責任・役割の遂行のために強化・向上が必要な技能、トレーニング・ニーズの評価、村落内における当該スキルを有する人材・ノウハウの有無の確認 | 2 時間 |
| | 3. 各トレーニング実施時期・対象者の確認・合意 | 1.5 時間 |
| | 4. 総括・研修評価 | 1 時間 |

5) 手法

1 日目には、まず VWC の責任・役割、運営方法に基づき、VWC 設立以降メンバーが実施してきた活動内容を振り返り、その中でメンバーが抱いた VWC としての「期待」と「恐れ」を視覚化し、共有する。続いて、グループ討議を通して、組織としての VWC の機能ならびに各メンバーの役割を再確認する。

2 日目の活動では、VWC メンバーとしての責任・役割を遂行する際に阻害/促進要因となる状態・行動を分析し、VWC のトレーニング実施時に配慮が必要な阻害要因及びトレーニングを通して更に強化を期待する促進要因を特定する。以後の VWC のトレーニング実施時には、VWC のトレーニング・マニュアルとともに、本ニーズ分析で明らかになった事項を踏まえて各活動の詳細計画を策定する。

また、トレーニング実施時期の確認・合意に際しては、各村落の農作業繁忙期や宗教行事等の季節カレンダーに留意するとともに、女性メンバーが参加しやすい時期・時間・場所の設定についてモチベーターと VWC 間で合意する。

6) 活動の成果品

TAC-MDFT による活動モニタリング・シート

活動 7-2 給水施設の日常の運営・維持管理に関する技術・知識の向上（活動所要期間：2日／サイト × 18 サイト 計 36 日間）

1) 目的

- ① 本プロジェクトで建設される給水施設の構成、設計基準、運営・維持管理における村落側と民間業者の責任範囲区分等、運営・維持管理を行う上で認識が必要な施設の概略設計についての理解を促進する。
- ② ソーラー式揚水システム、公共水栓及び配管の施設区分により、具体的に村落側で必要な運営・維持管理活動、人員の配置について説明し、村落内での必要な人材（オペレーター兼警備員及び各公共水栓の管理人）選定を促進する。
- ③ 施設の運営・維持管理費回収のための村落内での水利用料金の設定・徴収方法、その他の財源確保の方法についてオプションを提示し、当該コミュニティに適用可能な方法を協議・合意する。

2) 対象者

対象 18 サイトの VWC メンバー（計 180 名 約 10 名/VWC × 18 サイト）

3) 活動実施担当者及び従事期間

| 実施担当者 | 従事期間 | 担当業務 |
|---------------------|---------|-----------------------|
| 現地 NGO/コーディネーター(1名) | 計 10 日* | TAC-MDFT メンバーに対する OJT |
| TAC-MDFT メンバー | 計 36 日間 | 村落レベルでの活動実施主導 |

*: 5Area Council で各 1 サイト（計 5 日間）を OJT 対象とし、1 サイト 2 日間（計 10 日間）の活動に参加する。その他 13 サイトにおいては TAC-MDFT が OJT にて指導された内容を独自に実施し、現地 NGO は TAC-MDFT 作成の活動モニタリング・シートによりその活動状況を確認する。

4) 活動プログラム案

| 日程 | 主な内容 | 所要時間（目安） |
|------|--|----------|
| 1 日目 | 1. 当該トレーニングの目的説明・ルールの設定 | 0.5 時間 |
| | 2. 本プロジェクトで建設される給水施設の構成・設計基準 | 0.5 時間 |
| | 3. 施設の運営・維持管理における村落と民間 OM 会社との責任負担区分 | 0.5 時間 |
| | 4. 行政側の運営・維持管理支援体制 | 0.5 時間 |
| | 5. ソーラー式給水施設の日常の運営・維持管理活動と必要な人材・資材・技術 | 1.0 時間 |
| | 6. 公共水栓・配水管の日常の運営・維持管理活動と必要な人材・資材・技術 | 1.0 時間 |
| | 7. 施設の運営・維持管理費内訳と利用者による費用負担原則 | 1.0 時間 |
| | 8. 運営・維持管理費の費用回収に関するオプション | 1.0 時間 |
| 2 日目 | 1. 上記 1 日目の VWC による協議・合意事項についての村落全体へのフィードバック | 1.5 時間 |
| | 2. 運営・維持管理費の費用回収方法についての合意 | 1.5 時間 |
| | 3. 運営・維持管理活動に従事する人材（オペレーター兼警備員、水栓管理人）の選定に関する条件 | 1.0 時間 |

5) 手法

VWC のトレーニング用マニュアルならびに活動 3「村落オリエンテーション」で使用した視覚教材を活用し、施設構成と運営・維持管理体制の責任区分についての理解を促進する。また、運営・維持管理費の費用回収方法のオプション提示に際しては、世帯または同一水栓を利用するグループの水使用量に応じた公平な費用負担と弱者への配慮、水の不正な大量使用や漏水の放置と運営・維持管理費増加との関係等の課題に如何に対処するかを併せて検討する。

VWC による協議事項は最終的に住民全体集会を開催して村落全体にフィードバックし、運営・維持管理費の回収方法を含む運営・維持管理方法について住民の理解を求め、最終的に村長からの承認を得る。また、VWC による監督の下で運営・維持管理活動に従事するオペレーター兼警備員、各公共水栓の管理人の選定に関する条件について VWC、住民と合意し、人材の選出を要請する。

ソーラー式給水施設の日常の操作・運営・維持管理を担当するオペレーター兼警備員に対する操業・運営・維持管理技術指導は、施設引渡し時に施工業者が実施するため、ソフトコンポーネントの活動範囲には含まれない。

6) 活動の成果品

TAC-MDFT による活動モニタリング・シート

活動 7-3 運営・維持管理費の会計管理に関するトレーニング（活動所要期間：2 日／サイト × 18 サイト 計 36 日間）

1) 目的

- ① 運営・維持管理費の徴収・積立と会計管理に必要な知識・技能の修得を促進する。
- ② 運営・維持管理費の使用に関わる手続き、村落への報告方法について合意する。

2) 対象者

対象 18 サイトの VWC 会計係及び活動 7-2 以降に選定された水栓管理人（18 サイト全体で 318 人）、VWC 会計係 1 名／サイト

3) 活動実施担当者及び従事期間

| 実施担当者 | 従事期間 | 担当業務 |
|---------------------|---------|-----------------------|
| 現地 NGO/コーディネーター(1名) | 計 10 日間 | TAC-MDFT メンバーに対する OJT |
| TAC-MDFT メンバー | 計 36 日間 | 村落レベルでの活動実施主導 |

*: 5Area Council で各 1 サイト（計 5 日間）を OJT 対象とし、1 サイト 2 日間（計 10 日間）の活動に参加する。その他 13 サイトにおいては TAC-MDFT が OJT にて指導された内容を独自に実施し、現地 NGO は TAC-MDFT 作成の活動モニタリング・シートによりその活動状況を確認する。

4) 活動プログラム案

| 日程 | 主な内容 | 所要時間（目安） |
|------|--|----------|
| 1 日目 | 1. 当該トレーニングの目的説明・ルールの設定 | 0.5 時間 |
| | 2. 運営・維持管理費の徴収・管理における VWC 会計係と水栓管理人の役割 | 1.5 時間 |
| | 3. 運営・維持管理費徴収・積立・使用の流れ | 2 時間 |
| | 4. 出納記録作成（理論・演習） | 3 時間 |
| 2 日目 | 1. 運営・維持管理費徴収・保管に際しての規則 | 1 時間 |
| | 2. 運営・維持管理費使用に際しての手続き（村落内の承認等） | 1 時間 |
| | 3. VWC 及び村落への会計報告方法（理論・演習） | 3 時間 |
| | 4. 利用者の支払いを促進する要素 | 1 時間 |
| | 5. 総括・トレーニング評価 | 1 時間 |

5) 手法

活動 7-2 で合意された運営・維持管理費の徴収方法に基づき、各公共水栓の利用者からの水料金徴収方法について具体的に会計係と水栓管理人の役割を確認する。また、VWC トレーニング・マニュアルを下に、出納記録や会計報告のフォーマット例を用いて理論と演習を交えながら、会計管理の基礎知識・技術の修得を促進する。